

市民活動団体への資金面への支援について

※本資料においては、次のとおり略称を使用しています。

小田原市市民活動応援補助金 → 市補助金

UMECO市民活動応援補助金 → UMECO補助金

1 UMECOでの補助金制度実施で評価できること

- ・ UMECO補助金を創設し、市民からの寄附金を募っている。
- ・ 相談業務において、資金支援の選択肢として市補助金を提案するなど、制度の有効活用を図っている。
- ・ 市補助金の応募段階において、指定管理者の専門性を生かした助言をしている。
- ・ 補助金事業の視察時に助言をしたり、広報紙や企画展示で団体をPRするなど、審査以降における支援も拡充させている。

2 課題及び対応案

- (1) UMECO補助金に係る寄附を募っていることについて、市民への認知度がそれほど高くない。

【対応案】

- ▶ UMECO補助金の交付対象団体に寄附募集のPRを依頼する。
(事業実施時のチラシ配架、団体ホームページへのリンク貼付け 等)

- (2) 応募件数の大幅な増加が見込めない中、UMECO補助金の交付要件である「市補助金の応募事業のうち、市予算の都合により交付対象事業として選定されなかった」等を満たす事業が現れにくい。

【対応案】

- ▶ 異なる交付要件を検討する。
(市補助金交付対象事業への支援拡充、不通過事業への奨励又は条件付き交付 等)

- (3) スタートアップコースへの応募事業について、第一次審査を通過することが比較的に少ない。

※裏面参照

【対応案】

- ▶ より完成度の高い企画提案となるよう、応募段階での助言をより充実させる。
(事前相談を必須とする、応募締切をステップアップコースよりも前倒しする 等)

- (4) 過去に3年間ステップアップコースの交付を受けた団体が別事業で応募した場合、実績や事業の完成度から審査に通りやすいと思われる。他団体との公平性や、市補助金が団体の自立促進を目的としていることを念頭に置き審査する必要がある。

【対応案】

- ▶ 事業計画書の所定の欄において、審査に必要な情報が記載されやすくする。
(新旧事業区分の妥当性、新事業への補助金の必要性、旧事業の現状が記載されるよう、記載例や様式を見直す 等)

[近年の市補助金審査通過状況]

スタートアップコース

交付 年度	応募 件数	通過件数		b/a	c/b	c/a
		一次	二次			
H27	5	2	2	40.0%	100.0%	40.0%
H28	7	5	5	71.4%	100.0%	71.4%
H29	11	4	3	36.4%	75.0%	27.3%
H30	5	4	4	80.0%	100.0%	80.0%
R1	4	3	2	75.0%	66.7%	50.0%
R2	10	6	5	60.0%	83.3%	50.0%
R3	9	5		55.6%		

ステップアップコースA・B

交付 年度	応募 件数	通過件数		b/a	c/b	c/a
		一次	二次			
H27	11	11	7	100.0%	63.6%	63.6%
H28	4	4	4	100.0%	100.0%	100.0%
H29	14	12	8	85.7%	66.7%	57.1%
H30	13	11	9	84.6%	81.8%	69.2%
R1	8	8	7	100.0%	87.5%	87.5%
R2	10	9	8	90.0%	88.9%	80.0%
R3	9	9		100.0%		

全体

交付 年度	応募 件数	通過件数		b/a	c/b	c/a	参考：金額	
		一次	二次				応募	交付
H27	16	13	9	81.3%	69.2%	56.3%	2,860 千円	1,932 千円
H28	11	9	9	81.8%	100.0%	81.8%	1,600 千円	1,400 千円
H29	25	16	11	64.0%	68.8%	44.0%	4,100 千円	2,000 千円
H30	18	15	13	83.3%	86.7%	72.2%	2,907 千円	2,000 千円
R1	12	11	9	91.7%	81.8%	75.0%	2,000 千円	1,800 千円
R2	20	15	13	75.0%	86.7%	65.0%	2,880 千円	1,980 千円
R3	18	14		77.8%			2,327 千円	